



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月30日

上場会社名 ニチ八株式会社

上場取引所 東名

コード番号 7943 URL <http://www.nichiha.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山中 龍夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 殿井 一史

TEL 052-220-5116

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	87,690	0.5	10,417	3.0	10,611	2.2	7,873	6.4
29年3月期第3四半期	87,243	4.7	10,118	60.8	10,387	63.4	7,402	59.6

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 8,753百万円 (53.7%) 29年3月期第3四半期 5,696百万円 (19.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	212.96	212.55
29年3月期第3四半期	200.24	199.89

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	126,788	77,389	61.4	2,106.50
29年3月期	126,470	70,777	56.4	1,929.85

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 77,886百万円 29年3月期 71,350百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		21.00		31.00	52.00
30年3月期		27.50			
30年3月期(予想)				27.50	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	119,000	0.7	13,800	7.5	14,000	6.7	10,000	4.2	270.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	37,324,264 株	29年3月期	37,324,264 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	349,717 株	29年3月期	352,142 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	36,974,332 株	29年3月期3Q	36,968,473 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及びその他業績予想に関する事項については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費は夏場以降持ち直しの動きが一般しているものの、鉱工業生産の増加や企業収益の改善に伴う設備投資の増加などにより、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

住宅産業におきましては、新設住宅着工戸数は貸家を中心に第2四半期から減少傾向が見られ、平成29年4月～同年11月までの新設住宅着工戸数は前年同期比1.2%の減少、当社グループ事業との関係が特に強い戸建て住宅に限っては同1.6%の減少となり、市場はやや弱含みに推移しました。

一方で、当社グループの主力製品である窯業系外装材の当第3四半期累計期間における業界全体の国内販売数量は、戸建て着工と数カ月のタイムラグがあるため、前年同期に比し1.3%（JIS規格の改正に伴い平成21年度よりJIS規格対象外となった12mm厚製品を含む従来基準）の増加となりました。

このような市場環境の下、当社グループは、引き続き耐候性・メンテナンスコストなどの面で優れた新世代外装材「Fu-ge（フュージェ）」などの顧客ニーズに沿った高付加価値商品のアピールに努めるとともに、各種販売施策を講じて積極的な拡販を図りました。また、公共施設・商業施設などの非住宅市場向けの新商品「COOL（クール）」の投入を始めとした販売戦略の強化や成長を続けている米国を始めとする海外マーケットの開拓を図るとともに、各種合理化や生産性向上によるコスト削減にも注力いたしました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結業績は次のとおりとなりました。

(金額単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	
			金額	率 (%)
売上高	87,243	87,690	447	0.5
営業利益	10,118	10,417	299	3.0
経常利益	10,387	10,611	223	2.2
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,402	7,873	471	6.4

売上高につきましては、主力の国内外装材事業が販売数量の減少により微減収となりましたが、米国窯業系外装材事業は為替影響により増収となったことから、全体の売上高は876億90百万円と前年同期比4億47百万円（0.5%）の微増収となりました。

一方で損益につきましては、国内外装材事業は前期に実施した設備投資に伴う減価償却負担増やエネルギーコストアップなどにより減益となったものの、海外窯業系外装材事業は米国事業での生産性向上を主因に増益となったことから、営業利益は104億17百万円と前年同期比2億99百万円（3.0%）の増益、経常利益も106億11百万円と同2億23百万円（2.2%）の増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期に計上した減損損失がなくなったこともあり、78億73百万円と同4億71百万円（6.4%）の増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

外装材事業

売上面では、前記のとおり、国内外装材事業が微減収となった一方で、米国窯業系外装材事業は増収となったことから、売上高は806億62百万円と前年同期比2億53百万円（0.3%）の微増収となりました。

また、損益面では、前記のとおり、国内外装材事業の減益はあったものの、米国窯業系外装材事業の増益により、セグメント利益（営業利益）は124億67百万円と前年同期比7億36百万円（6.3%）の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

前連結会計年度末に比し純資産が66億12百万円、総資産が3億17百万円それぞれ増加した結果、自己資本比率は61.4%と5.0ポイントの増加となりました。

増減の主なもの、流動資産では現金及び預金が31億90百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が24億17百万円、商品及び製品が17億25百万円それぞれ増加したことなどにより、流動資産全体で11億42百万円増加しました。また、固定資産では有形固定資産が18億82百万円減少した一方で、投資その他の資産が11億50百万円増加するなど、固定資産全体で8億24百万円減少しております。

負債では、流動負債が未払法人税等をはじめとした支払債務の減少を中心に54億32百万円、固定負債が長期借入金返済などにより8億61百万円それぞれ減少したことから、負債合計は62億94百万円減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期(自平成29年4月1日至平成30年3月31日)の通期の連結業績予想につきましては、平成29年5月10日に公表いたしました業績予想を変更していません。

なお、今後の動向等により業績予想の修正が必要となった場合には、適時に開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,854	23,663
受取手形及び売掛金	27,440	29,857
商品及び製品	9,250	10,976
仕掛品	1,722	2,053
原材料及び貯蔵品	2,735	3,135
繰延税金資産	1,292	869
その他	914	796
貸倒引当金	△40	△41
流動資産合計	70,170	71,312
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,648	13,144
機械装置及び運搬具(純額)	11,723	10,241
工具、器具及び備品(純額)	479	430
土地	20,380	20,378
リース資産(純額)	314	230
建設仮勘定	141	380
有形固定資産合計	46,687	44,804
無形固定資産		
リース資産	10	39
ソフトウェア	1,032	1,756
その他	1,135	290
無形固定資産合計	2,178	2,086
投資その他の資産		
投資有価証券	5,275	6,757
退職給付に係る資産	230	219
繰延税金資産	459	187
その他	1,495	1,445
貸倒引当金	△25	△23
投資その他の資産合計	7,434	8,584
固定資産合計	56,300	55,476
資産合計	126,470	126,788

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,068	14,709
短期借入金	5,318	5,407
リース債務	140	143
未払法人税等	2,308	684
賞与引当金	1,330	585
役員賞与引当金	108	75
製品保証引当金	845	610
その他	11,618	9,089
流動負債合計	36,739	31,306
固定負債		
長期借入金	15,033	13,984
リース債務	211	148
繰延税金負債	590	737
退職給付に係る負債	1,509	1,600
役員退職慰労引当金	145	154
製品保証引当金	1,279	1,279
その他	185	186
固定負債合計	18,954	18,092
負債合計	55,693	49,399
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,136	8,136
資本剰余金	10,925	10,925
利益剰余金	50,787	56,500
自己株式	△325	△325
株主資本合計	69,523	75,236
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,006	3,042
為替換算調整勘定	395	121
退職給付に係る調整累計額	△575	△513
その他の包括利益累計額合計	1,826	2,650
新株予約権	75	95
非支配株主持分	△648	△592
純資産合計	70,777	77,389
負債純資産合計	126,470	126,788

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	87,243	87,690
売上原価	52,346	52,238
売上総利益	34,896	35,451
販売費及び一般管理費	24,778	25,034
営業利益	10,118	10,417
営業外収益		
受取利息	19	35
受取配当金	61	77
不動産賃貸料	66	66
為替差益	139	—
受取保険金	65	98
その他	86	82
営業外収益合計	439	360
営業外費用		
支払利息	146	122
為替差損	—	16
その他	23	27
営業外費用合計	170	167
経常利益	10,387	10,611
特別利益		
固定資産売却益	2	3
投資有価証券売却益	0	2
特別利益合計	3	5
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	34	54
減損損失	158	—
その他	—	1
特別損失合計	193	55
税金等調整前四半期純利益	10,197	10,561
法人税、住民税及び事業税	2,491	2,261
法人税等調整額	276	369
法人税等合計	2,767	2,630
四半期純利益	7,429	7,931
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,402	7,873
非支配株主に帰属する四半期純利益	26	57
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	350	1,036
為替換算調整勘定	△2,174	△275
退職給付に係る調整額	91	61
その他の包括利益合計	△1,732	821
四半期包括利益	5,696	8,753
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,679	8,697
非支配株主に係る四半期包括利益	17	55

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注3)
	外装材事業				
売上高					
外部顧客への売上高	79,762	7,480	87,243	—	87,243
セグメント間の内部売上高 又は振替高	646	1,640	2,287	△2,287	—
計	80,409	9,121	89,530	△2,287	87,243
セグメント利益	11,730	263	11,994	△1,875	10,118

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、繊維板事業、工事事業、FP事業、その他事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△19億15百万円及びその他の調整額39百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注3)
	外装材事業				
売上高					
外部顧客への売上高	79,990	7,699	87,690	—	87,690
セグメント間の内部売上高 又は振替高	671	1,656	2,328	△2,328	—
計	80,662	9,356	90,018	△2,328	87,690
セグメント利益	12,467	195	12,663	△2,245	10,417

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、繊維板事業、工事事業、FP事業、その他事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△22億90百万円及びその他の調整額44百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。